

BOSE®

OWNER'S MANUAL

線状音源スピーカー LineArray™ System

LA1612

この度は、ボーズLA1612をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるよう、保管することをお勧めいたします。

目次

LA1612取扱説明書



安全上の留意項目	2
特長	4
開梱時の注意	4
各部の名称および付属品	5
施工例	6
設置について	7
スピーカーの取り付け方	7
・壁面への設置	7
・オプションスタンドSS-5 を使用した場合	8
・オプション金具CB-33を使用した場合	10
・LA1612を2本重ねて(スタックして)使用する場合	11
スピーカーの結線について	11
・NL4MP端子を使用する場合	11
・M4ターミナルブロックを使用する場合	11
寸法図	裏表紙
仕様	裏表紙
故障の場合のお問い合わせ先	裏表紙
保証	裏表紙

説明の便宜上、イラストは原型と異なることがあります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
 以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

表示例		△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
		⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです(左図の場合は分解禁止を意味します)。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告		スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などのはさまに挟んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
		スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
		スピーカーコードを熱器具や白熱灯の近く、直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
		スピーカーコードを人が通るところなど引っかかりやすい場所に置かないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
		<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。
		熱器具や白熱灯の近く、直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用すると、火災の原因となります。
		取付ネジは、スピーカーおよびブラケットの重量を確認した上で天井、壁の材質にあったものを選んで取り付けを行ってください。強度が足りませんとスピーカーの落下により、けがや事故の原因となります。
		安全ワイヤーは指定された場所が落下時に耐えうる場所(スピーカー本体およびブラケットの総重量の10倍)に確実に取り付けてください。強度が足りませんと、落下し、けがや事故の原因となります。
		高いところで作業される場合には、安定のよい場所を選び踏み台等のガタツキを確認した上、作業してください。不安定のまま作業されますと、転倒し、けがや事故の原因となります。
		クランプ(はさみ込み部)は不安定な場所や、強度のないところなどクランプ部が抜け落ちてしまうところには設置しないでください。また、不十分な締め付け状態での使用はおやめください。落下し、けがや事故の原因となります。
		配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線、取付を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。
		ロック機構が付いているものは、ロックが確実に利いていることを確認したうえで設置してください。ロックが入っていないまま使用しますと落下し、けがや事故の原因となります。
		熱器具や白熱灯の近く、直射日光のあたるところには設置しないでください。近くで使用しますと、火災や事故の原因となります。
		<本製品>を分解したり、改造しないでください。強度等が失われ安全性が低下し、事故の原因となります。
	当社推薦の対応スピーカー以外は取り付けしないでください。事故の原因となります。	

注意

	<p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>電池を使用する機器のみ 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス + とマイナス - の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
	<p>旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p>
	<p>5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。</p>
	<p>アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。</p> <p>送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>
	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。</p>
	<p>スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。</p>
	<p>定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。</p>
	<p>取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。</p>
	<p>角度を変えるジョイント部を緩める際には、必ず先にスピーカーを支えてから行ってください。支えませんと急に動いて、けがや事故の原因となります。</p>
	<p>振動の多い場所には設置しないでください。そのような場所で長時間使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。</p>
	<p>角度固定部やスピーカー、ブラケット固定部は安全のため設置後 1 カ月程を目安に、再度増し締めを行ってください。</p>
	<p>スタンドが不安定にならないよう、平らなしっかりとした床面に設置してください。不安定のまま使用しますと、転倒し、けがや事故の原因となります。</p>
	<p><本製品>の取り付けの際には、安全のため施工業者にご相談ください。</p>
	<p>スタンドを踏み台として使用することは、絶対におやめください。転倒し、けがや事故の原因となります。</p>
	<p>角度調整機能がついたものは必ず、ジョイント部を緩めてから行ってください。固定したまま角度を変えますと機能低下し、けがや事故の原因となります。</p>
	<p>スピーカーを取り付けた後、スピーカーにより掛かったり、ぶら下がったりして重量を掛けますと転倒や落下などで、けがや事故の原因となります。</p>

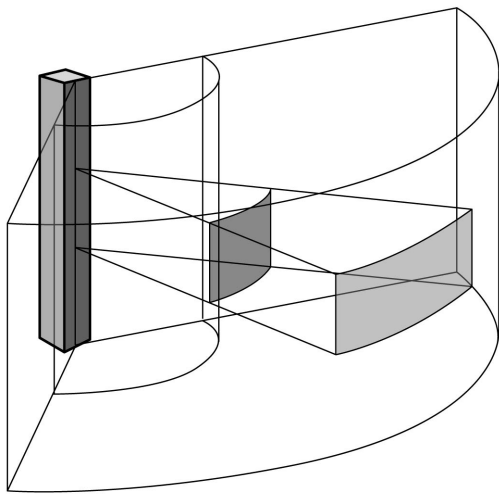
特 長

線状音源の理論によりスピーカーの近くと遠くで音量・音質の差が著しく少ないため、講義室や試験会場等において、均一の条件が得られます。

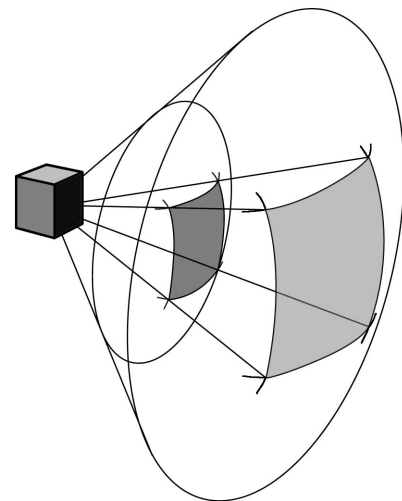
スピーカーから離れた場所で所要の音圧を得るための電氣的出力を大幅に抑えることが可能。結果的にハウリングが起こりにくく、残響が少なくなり、高い明瞭度が確保できます。

距離に対する音の減衰量が少ないため、奥行きが長い空間でも天井埋め込みのスピーカー等のサブスピーカーが不要となります。

本体の幅が狭いため、壁面に埋め込む場合、また露出して設置する場合にも建築上のデザインを損なうことなく設置できます。



LA1612のエネルギー放射



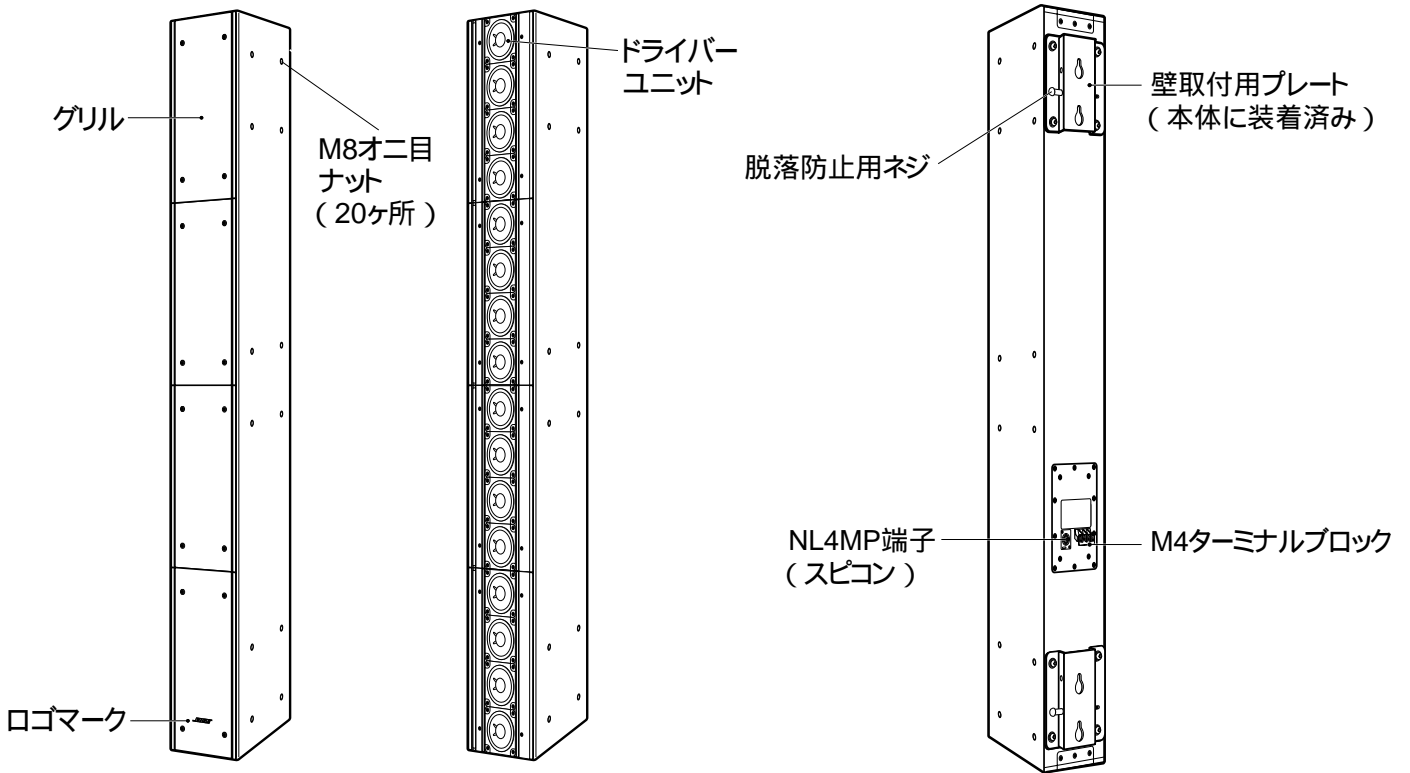
一般的なスピーカーのエネルギー放射

一般的なスピーカーの場合、距離が2倍になるとカバーエリアは垂直・水平方向とも2倍となるため面積は4倍となり、音響エネルギーは4分の1になります。一方、LA1612のカバーエリアは線状音源の理論通り、垂直方向はそのまま水平方向のみ2倍となる為、音響エネルギーの減衰は著しく少なくなります。

開梱時の注意

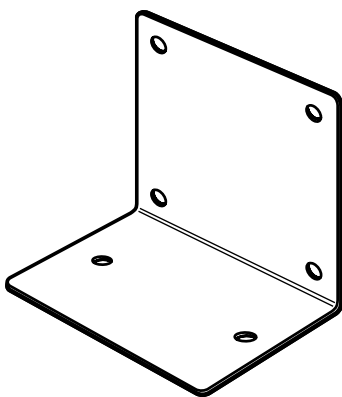
もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はおやめください。

各部の名称および付属品



付属品

付属品を確認してください。



三脚スタンド取付用
L型ブラケット×1枚



三脚スタンド
取付用ナット×2個



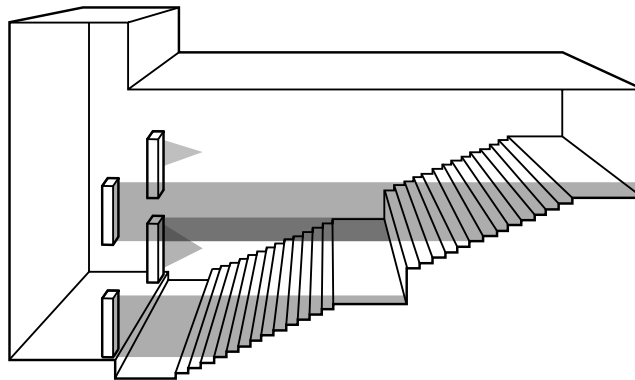
三脚スタンド
取付サポートネジ×1本

施工例

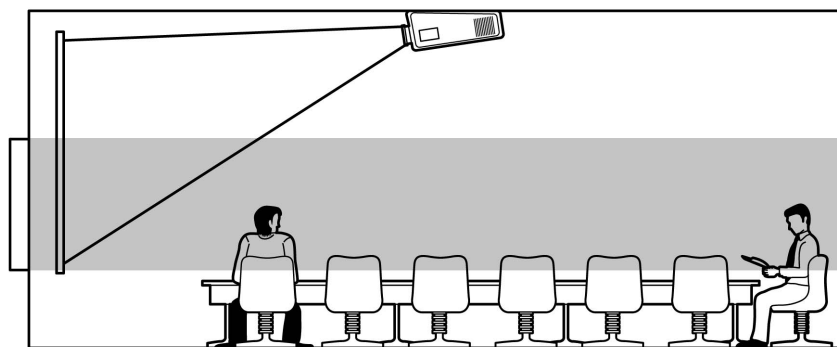
⚠ 設置上の注意

音響エネルギーはLA1612の高さと並行に直進し、上下には広がらないため、スピーカーのカバーエリアに注意してください。

使用目的やカバーエリアの広さに応じて、LA1612を複数本重ねて使用することも可能です。



多目的ホールやコンサートホール



会議室やプレゼンテーションルーム

設置について

⚠ 設置上の注意

下記の項目に注意して、設置場所の確認をします。

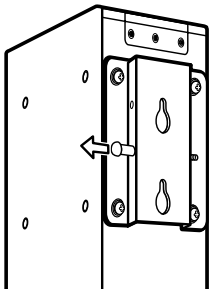
- ・設置した際の強度が十分にとれるかを確認します。
- ・スピーカーの背面にはあらかじめ壁取付用プレートが装着されていますが、スピーカーの向きや取付方法によって、金具や取付位置をお選びください（下図参照）。



スピーカーの取り付け方

壁面への設置

1. スピーカー本体を取り付ける前に、脱落防止用ネジを外しておきます。

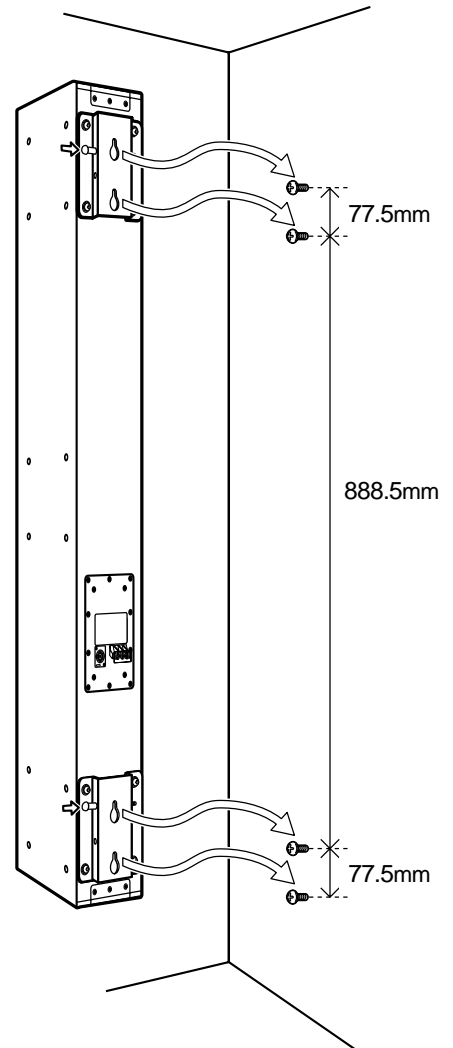


2. 図のように、壁面にネジを取り付けます。次に壁面に取付けたネジに、スピーカー本体を取り付けます。
ネジは付属されておりませんので、別途ご用意ください。

3. 脱落防止用ネジを取り付けてスピーカーが外れないことを確認します。

金具をスピーカーの側面に取り付ける場合、グリルのロゴの向きが逆になる場合があります。その場合はグリルを取り外し、付け直してください。

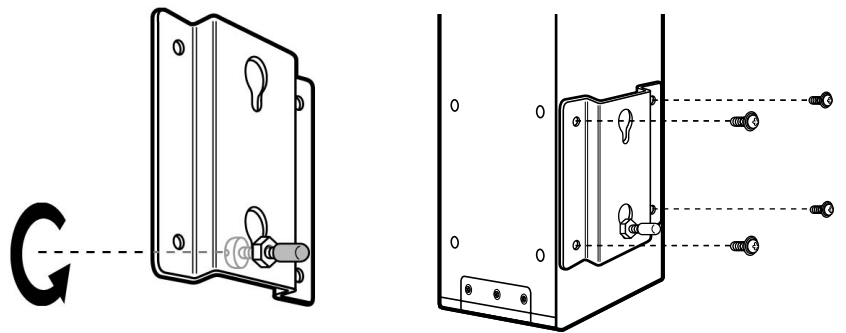
NL4MP端子を使って接続する場合には本体背面側を壁面から80mm以上あけて下さい。



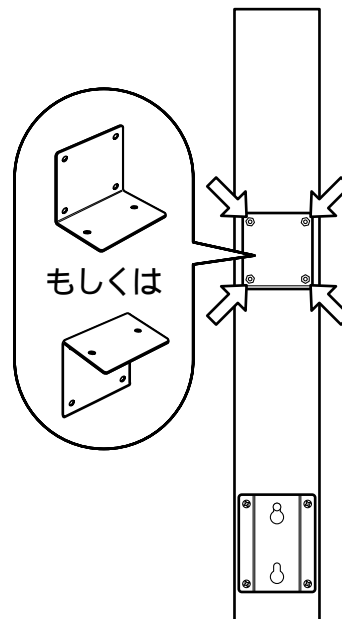
オプションスタンドSS-5 を使用した場合

取り付けに関しては、SS-S の取扱説明書をご参照ください。

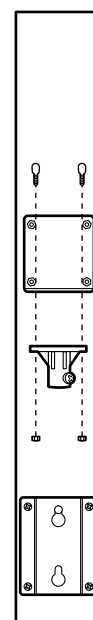
1. 底面側の壁面取付プレートの天地を逆に
して、取り付け直し、サポートネジを図の
ように取り付けます。



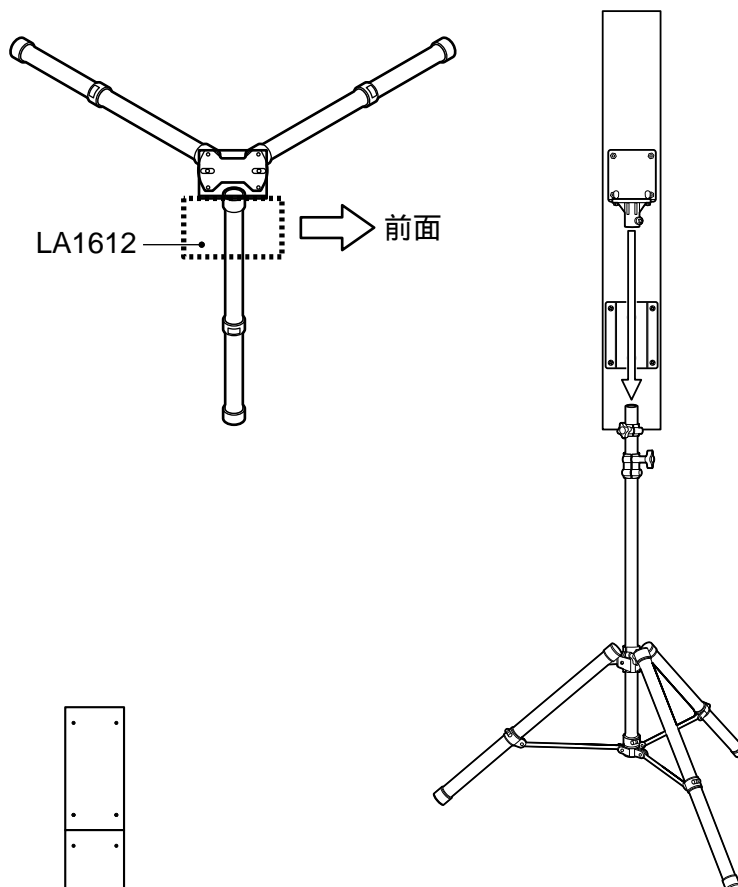
2. スピーカー本体の天面側の壁面取付プレートを外し、そのネジを使って付属されているスタンド取付用L型プレートをスピーカーの中央部に取り付けます。



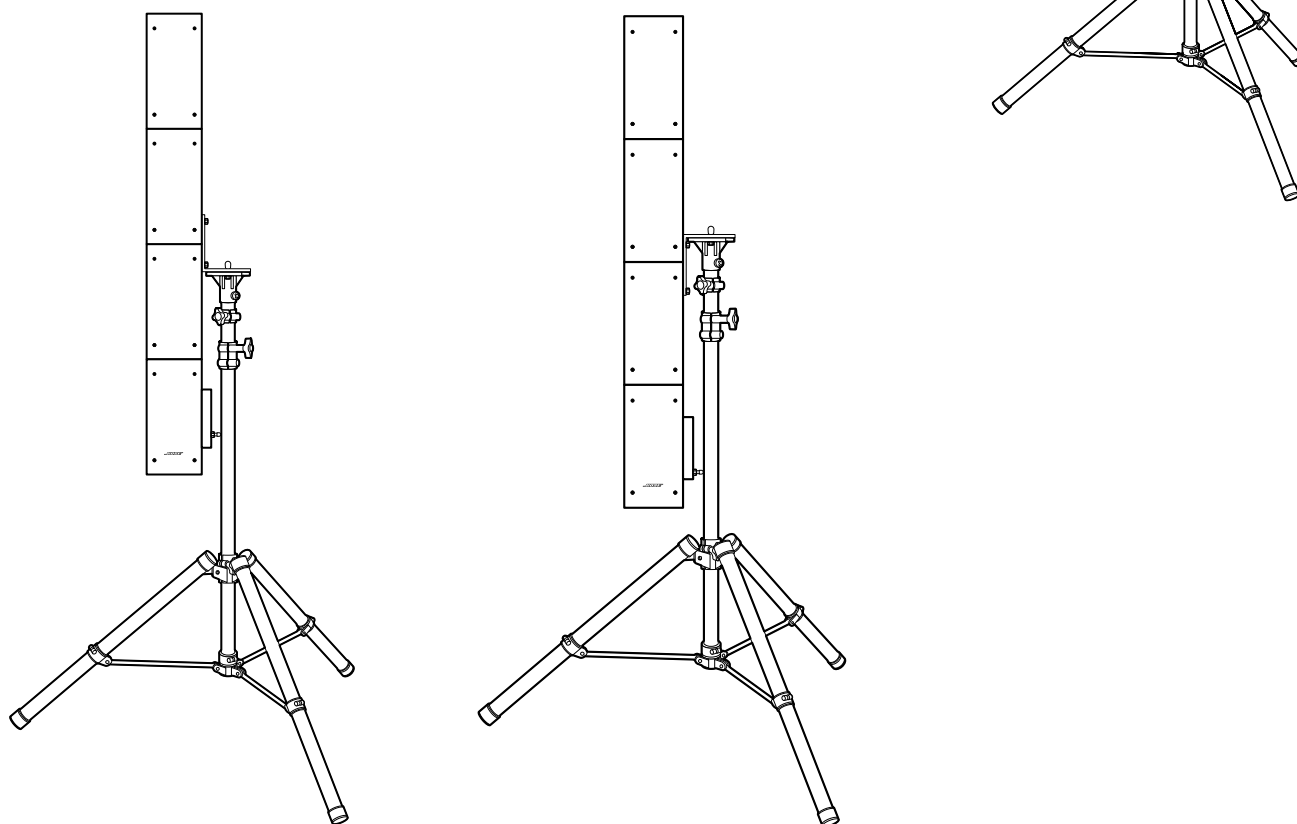
3. 2で取り付けしたスタンド取付用L型プレー
トにSS-5 のマウントプレートを取り付
けます。



4. スタンドの三脚とスピーカー本体の位置関係に十分注意して、スタンドにスピーカー本体を取り付けます。図のようにスピーカー本体がスタンドのいずれかの足の上にくるように設置してください。



完成図



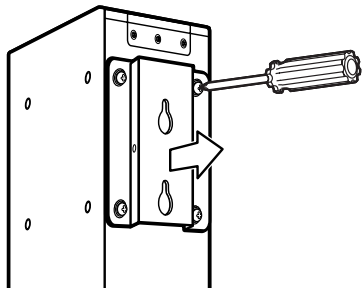
⚠ 注意

スタンドが不安定にならないよう、平らなしっかりとした床面に設置してください。不安定のまま使用しますと、転倒し、ケガや事故の原因となります。

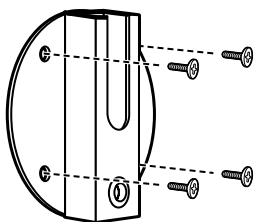
オプション金具CB-33を使用した場合

CB-33は天井ブラケットとして設定されていますが、LA1612を取り付けるときは壁掛け用ブラケットとしてご使用ください。金具の取り付けに関する注意に関しては、CB-33の取扱説明書もご参照ください。

1. スピーカー本体に装着された壁面取付プレートを2枚とも外します。

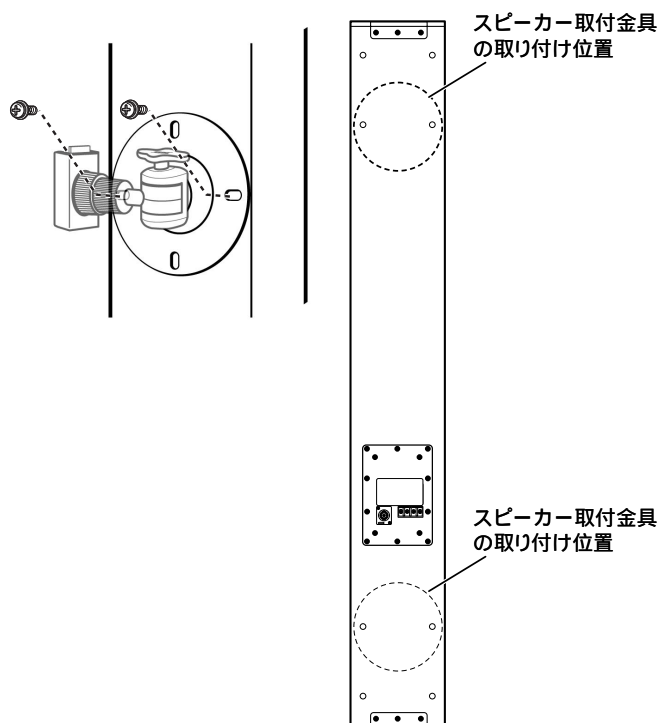


2. 壁面にCB-33天井取付金具を取り付けます。

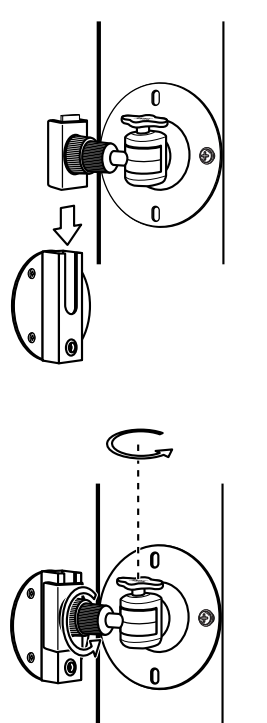


壁面取付用ネジ類は、壁面の材質によって選定する必要があり、付属しておりません。

3. スピーカー本体にCB-33スピーカー取付金具を1の取付プレートに付属していたネジを使って取り付けます。

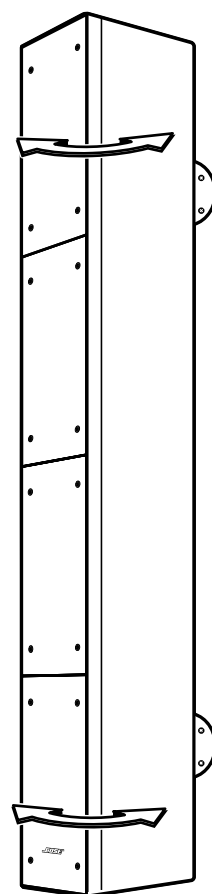


4. 壁面に取り付けた金具にスピーカーを取り付けます。



5. スピーカーの角度調整をします。

金具をスピーカーの側面に取り付ける場合、グリルのロゴの向きが逆になる場合があります。その場合はグリルを取り外し、付け直してください。



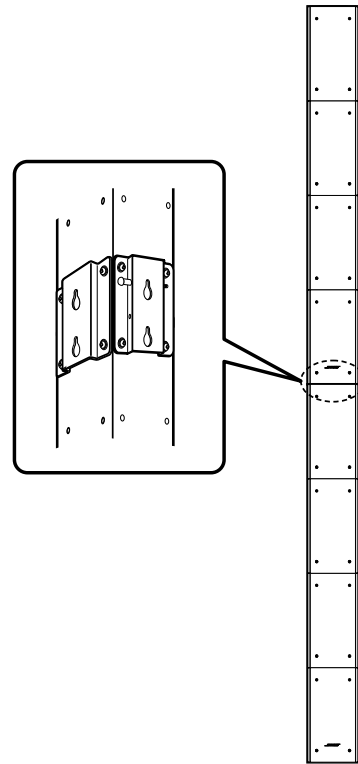
⚠ 注意

スピーカーが水平方向に角度調整できるように、金具の取り付け向きに注意してください。

LA1612を2本重ねて(スタックして)使用する場合

LA1612を2本重ねて使用することにより、スピーカーのカバーエリアを垂直方向に広げることが可能です。階段教室やホールなどリスニングポイントが上下に広がっている場合などに有効です。

1. スピーカー本体に装着された壁面取付プレートを2枚とも外します。
2. LA1612を図のように重ねます。この時、1で外したプレートを2本のスピーカーの鍔(かすがい)になるように取り付けます。



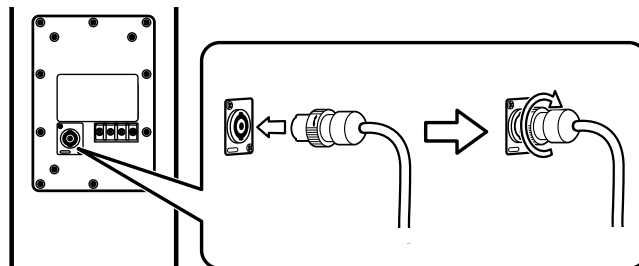
⚠ 注意

本機を2本重ねた状態でスタンド(SS-5)や壁取付金具(CB-33)を使用して設置することはお止め下さい。

スピーカーの結線について

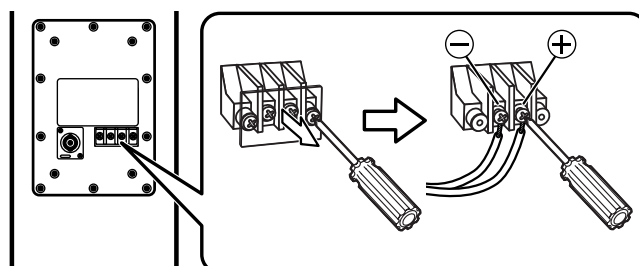
NL4MP端子を使用する場合

市販のNL4FC(通称;スピコン)型コネクターが使用できません。

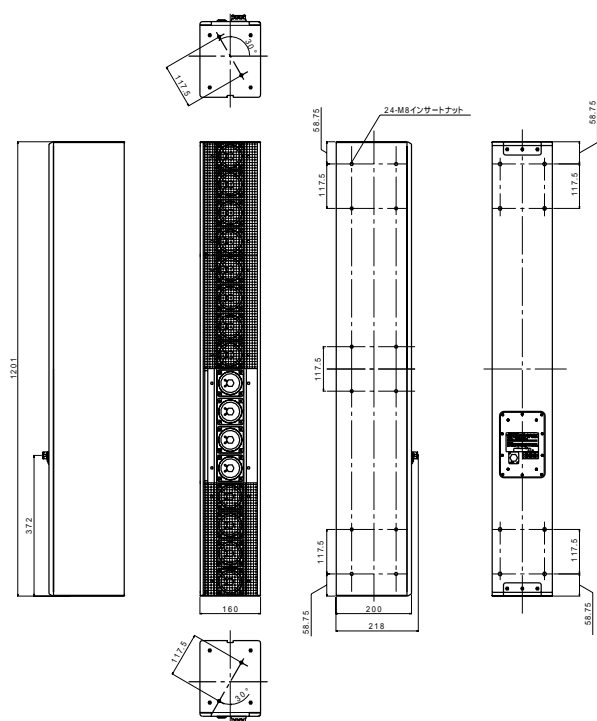


M4ターミナルブロックを使用する場合

1. スピーカーターミナルカバーを外します。
2. 本体に表示された極性に従ってスピーカーケーブルを確実に接続します。
3. スピーカーターミナルカバーを取り付けます。



寸法図



仕様

方式	4チャンバー・バスレフ
ユニット構成	5.7cmフルレンジ・ドライバー×16個
定格入力	200W(rms IEC268-5)
定格インピーダンス	4
再生周波数帯域	65Hz～20kHz
入力端子	NL4MP、M4ターミナルブロック
外形寸法	160(W)×1200(H)×200(D)mm
質量	19kg

故障の場合のお問い合わせ先

故障及び修理のお問い合わせは、

ボーズ・サービスセンター株式会社 フリーダイヤル ☎ 0120-235-250
住所 〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、

ボーズ株式会社、インフォメーションセンター ☎ 03-5489-0955
までご連絡ください。

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE[®]
Better sound through research[®]

<http://www.bose.co.jp/>

ボーズ株式会社

〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル TEL 03-5489-0955

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1193
06-11-0.1K-E-1(I-M)